

【ひばり学級のまとめ】

1. 学年の取組

ひばり学級では、校内研究の研究主題を具現化するために、次の2つに重点をおいて取り組んだ。

①大型テレビの活用

本時の内容は、栄養士さん、配膳員さん、調理員さんが、みんなの健康を考えて給食を届けてくださっていることを児童たちに気づかせ、感謝の気持ちを持たせる内容である。栄養士さん、配膳員さん、調理員さんの仕事の内容を大型テレビに映して紹介し、どのような思いで仕事をしているかについて話し合いを持った。

②表情カードの活用

思ったことや感じたことを児童が自分で気持ちを伝えられるようにしたいと考えた。そこで、一人ひとりに表情カードを渡し、このカードを使うことで自分の気持ちを表現させた。また、一人ひとりの思いや考えが他の児童にも伝わるように言葉を補完し、「こういうことだったんだね。」と説明を加えながら話し合いを進めた。

2. 授業実践について

主題名「ありがとう」を見つけよう

内容項目【B-8 感謝】

本時のねらい

給食を作ってくださっている人たちの仕事内容や思いを知り、感謝の気持ちを持つ態度を育てる。

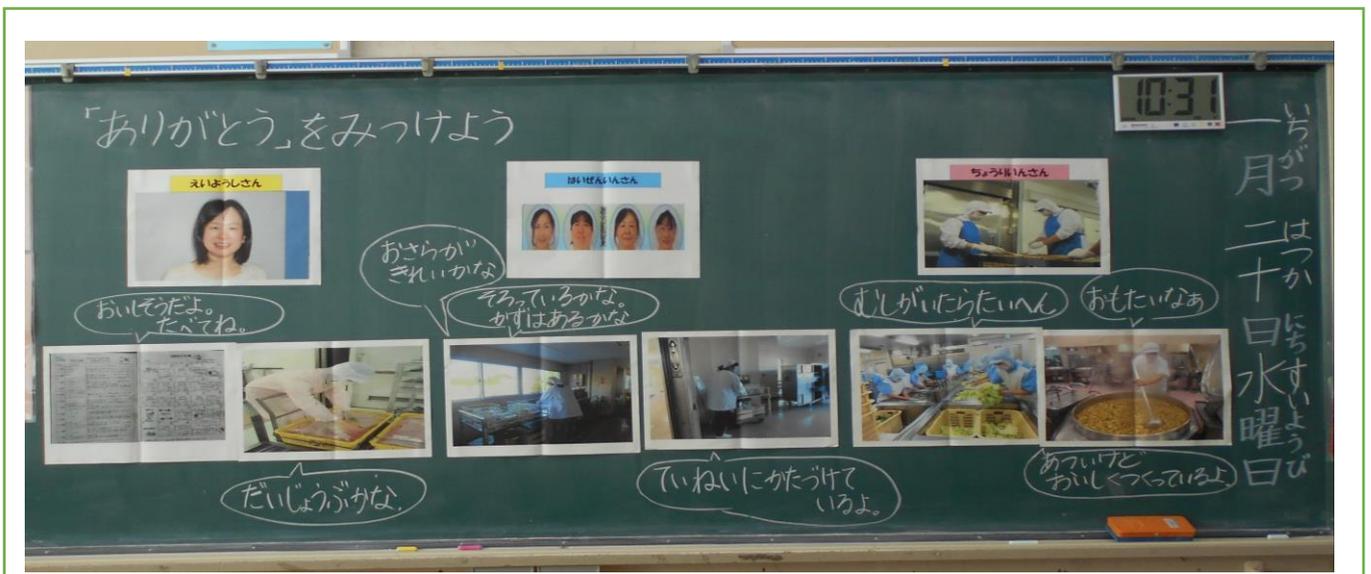
※参考資料 ①岐阜県可児市 HP「給食センターの一日」

②学校給食 狭山市公式ウェブサイト

授業者 大川 仁美 (T1) 四十八願 順子 (T2) 北島 達己 (T3) 関 浩隆 (介助員)

【授業の流れ】

- ①給食に関するクイズを出し、関心をもたせる。
- ②栄養士さん、配膳員さん、調理員さんの顔写真を貼り、紹介する。
- ③栄養士さん、配膳員さん、調理員さんの仕事内容の写真をスライドで見せ、どのような思いで仕事をしているのかを話し合う。
- ④栄養士さん、配膳員さん、調理員さんの手紙を読む。
- ⑤栄養士さん、配膳員さん、調理員さんに感謝の気持ちをこめてお返事を書く。
- ⑥がんばったこと、できたことなどを発表し授業の振り返りをする。



【話し合いについて】

話し合いの場では、スライドで見せた栄養士さん、配膳員さん、調理員さんの写真をもう一度見せ、「どんな気持ちで仕事をしているのか」について話し合った。自分の思いがあっても上手く言葉にできない児童には言葉を補完し、気持ちを伝えられない児童には、「こういうことだったよね。」と友達の言葉が発表した言葉を伝えることで、気持ちを共有した。表情カードを使って自分の気持ちを表す時には、全員がニコニコ笑顔のカードを出すことができた。児童からは「うれしいな。」という声が聞こえた

栄養士さん、配膳員さん、調理員さんからの手紙を読んだ後、お手紙のお返事を書く場面では、児童たちの言葉で表すことができた。



児童の手紙より

○えいようしさんへ

きゅうしょくたのしみです。みにきてくれてありがとう。うれしいです。

○はいぜんいんさんへ

いつもおいしいきゅうしょくをとどけてくれて、ありがとう。

○ちょうりいんさんへ

とってもおいしそうだよ。おいしくてうれしい。



うれしいな。

ありがとう。



3. 成果と課題

○栄養士さん達の様子を写真で見せたことで、給食について知ることができ、感謝の気持ちを持つことができた。

○発表やお手紙については、言葉を補うことで自分の気持ちに気づき、感謝の気持ちを持つことができた。

○表情カードを使ったことで、うまく言葉にできない児童も気持ちを表現することができた。みんながニコニコカードを出せた。

▼表情カードを使った理由が言えるとよかったが、聞き出すことができなかった。自分の気持ちを出表する経験を増やして自信をもたせることや、上手く聞き出す工夫が必要だった。